

## 第54回カワイピアノコンクール全国大会 審査員講評

本年度はコロナ禍による映像審査という異例のかたちとなりましたが、各賞は最終審議会での厳正な審議により決定いたしました。

審査員からは以下の講評があり、次の通り掲載致します。

### <ソロ部門>

全体を通して、一人ひとりよく準備を重ねられた丁寧な演奏で、とてもレベルが高いものでした。

課題曲は現代の邦人作曲家による作品ですが、短い期間とはいえ、内容を良くつかみ取っている方の演奏からは、楽曲に対する親近感が伝わってきました。

自由曲では、皆さんご自身のキャラクターを踏まえて選曲されている事が演奏面からも伝わってきました。

全国大会に向けて皆さんが取り組まれた、「作品が求めている要素を楽譜からよく読み取って、「自分の言葉として語る」表現に結び付ける探求」を今後も続けていただきたいと思いません。

### <連弾部門>

コロナ禍でアンサンブルの練習やレコーディングをするのには大変な苦労があったことと思ひ、まずはそのことをねぎらいたいと思ひます。

それぞれの演奏が大変個性的だったことが印象的で、特にセカンドパートの方が表現したいことをしっかり持っている、音楽全体に味が出て楽しめました。

この大変な時期に二人で呼吸をあわせて一つの理想を追求するのは素晴らしいことで、多くの演奏に素敵だなと思える瞬間がたくさん感じられました。

これからも楽しみながら生き生きとした音楽を奏でていってください。

なお、各出場者には、審査員からのコメント票（講評）が後日送付されます。

指導されている先生と一緒にご確認ください、今後のレッスンや次の目標に向けて役立てていただければと思ひます。

カワイ音楽コンクール委員会